

成長した日独協会を実感

会員 三宅芳子

昨年は当協会が創立5周年を迎え、その記念の催しとして乃羽バレエ団、湘南エールアンサンブルの共演でチャイコフスキーのバレエ組曲“くるみ割り人形”の公演が12月に行われました。この曲は何度も聴いておりますが、物語は一度読んだだけで余り心に残っておりませんでした。9月の例会で宮下先生の「くるみを割る人形のメルヘン」の楽しいお話を伺い、バレエの好きな友人を誘って今回の「くるみ割り人形」の公演に申し込み出かけることにしました。公演当日、3時半開場となっていましたから3時に会場に到着すれば大丈夫と思って出かけましたところ、会場に近づくにつれて目に入ってきたのは沢山の人の長い列でした。あれは何の列？それがバレエの観客であることを知り吃驚しました。やがてホールに入って席に着き、さてオーケストラは？と確かめているうちにベルが鳴り開演。最初に乃羽ひとみさんのバレエについてのお話にありましたように先入観を捨てて子供の頃に返り、クララ同様次々と繰り広げられる夢を楽しむことにしました。美しく綺麗な照明、背景、衣装、それに素晴らしい踊り。あの踊りには厳しい練習とご苦労がしのばれました。中でもネズミの軍隊の可愛らしいお子さま方は微笑ましく感動的でした。また、湘南エールアンサンブルの演奏は耳に心地よく、踊りの足音が少々耳に障ることもありましたが、かえって大編成のオーケストラよりバレエを引き立て、観客を幻想の世界へ誘ったのではないのでしょうか。

バレエ終了後、湘南日独協会創立5周年記念祝賀会が行われ、ドイツ大使館参事官、藤沢・鎌倉・茅ヶ崎各市長、当協会会長などのご挨拶がありました。楽しい雰囲気の中で固苦しい感じがなかったのは非常に良かったです。今回の催しは私自身にとっても良いクリスマスプレゼントになりました。

湘南日独協会 2004 年度活動予定

どうぞ今からご予約下さい。

■ 4月24日(土) 会員懇話会 16:30～18:30

湘南ビールを楽しむ会

会場 茅ヶ崎 MOKICHI TRATTORIA

■ 5月22日(土) 第33回例会

講演会 三輪晴啓氏

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ロータスホール

■ 6月26日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ローズルーム

■ 7月31日(土) 第34回例会 18:00～

湘南の夏を彩るビアイベント

ドイツフェア

出演 楽団「シバルベ」(プラスバンド)

湘南日独協会混声合唱団「アムゼル」

会場 藤沢市民会館第1レセプションホール

■ 8月28日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ローズルーム

■ 9月25日(土) 第35回例会

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ロータスホール

■ 10月23日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ローズルーム

■ 11月27日(土) 第36回例会

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ロータスホール

湘南日独協会会報 (Der Wind)

VOL. 6. NO. 2. 通巻32. 発行 2004. 3. 27.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

No. 32.

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第32回例会

【講演会】

ドイツの会社に 就職できるか

日時 3月27日(土)午後1時30分～3時30分

講師 織田正雄氏 (湘南日独協会副会長・株NRW
ジャパン社長。)

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ロータスホール

講師からのメッセージ

日本の就職事情が厳しいためか、最近、若者からドイツで働けるかと尋ねられる。親御さんからの照会もある。従来この質問にはやや悲観的な回答を繰り返してきたが、最近事情が変わって来たので、前向きな回答が出来る様になってきた。さてその状況変化とはなにか。

ドイツと日本ではもともと社会システムや教育システムがまるで異なる。最近特に経済活動の分野で日独は互いに相手国の仕組みを勉強しており、両国の状況が似通ってきた。その結果就職にも可能性が出てきたということで、そのバックグラウンドとなるものをお話ししよう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

若い世代の仲間を増やそう！

会員 山田芳弘

冬至前の一、湘南は暖かい日差しにつつまれていました。開演 30 分前藤沢市民会館の前にはこどもたちを含め人々の驚くほど長い列が出来ていました。そういえば今日のはくるみ割り人形、ハンブルグのオペラ劇場やニューヨークのリンカーンセンターなどで年末にクリスマスデコレーションに飾られた劇場前に親と一緒に集まったこどもたちの楽しげな表情を思い出しました。クリスマスのシーズンにくるみ割り人形は定番です。

大ホール場内に入ると既に殆ど満席に近い盛況でした。こどもたちが多く、いつものバレエやクラシックの公演と違った家族的な雰囲気です。なぜくるみ割り人形が湘南日独協会 5 周年記念行事として上演されるのか。その前の例会で宮下副会長からくるみ割り人形の原作がドイツの作家ホフマンであり、フランスのデュマがフランス語に書き換え、ロシアのチャイコフスキーに伝わりあの楽しいバレエ曲が生まれたこと、くるみ割り人形の意味など興味あるお話を伺いました。シュタールバウムは間違いなくドイツの名前ですね。やがて序曲が始まり開演、シュタールバウム家のパーティに招かれた家族たちが集まってきます。大人たちのダンス、こどもたちも楽しそうに踊ります。手品使いが現れ、シュタールバウム家の娘クララにくるみ割り人形をプレゼントします。クララの兄フリッツ少年のやんちゃぶりもほほえましい。隣席の座っていた 7、8 歳ぐらいの女の子がわたしクララの役がいいわとお母さんに囁いていました。舞台ではパーティの客たちも帰りやがて夜も更けてゆきます。クララは置き去りにされたくるみ割り人形が気になって居間に戻って来ました。現れたぬいぐるみのねずみの大群、2～3 歳らしい赤ん坊ねずみが数匹いかにも幼いしぐさが観客の笑いを誘っていました。くるみ割り人形とねずみたちとの戦い、クララの助太刀でくるみ割り人形がねずみ軍を追ひました。素敵な王子様に変身したくるみ割り人形はクララをお菓子の城に招きます。次々に繰り広げられる音楽とダンスは何度聞いても私たち



バレエ「くるみ割り人形」の 1 場面

を師走の現実から全く別の世界に誘います。金平糖の踊り、ロシアの踊り、アラビアの踊り、中国の踊り、花のワルツなど本当に楽しくエキゾチック。やがてクララの夢の時間も終わり居間でもとのくるみ割り人形を手にも目が覚めます。客席のこどもたちは皆目を輝かせて拍手していました。

これをみても今回の記念公演はまことに好企画であったと思います。このこどもたちとホール満員の大人たちに私たち日独協会のしていることに興味を持ってもらうにはどうすればいいかを考えました。ドイツにはグリム童話など親しみやすい作品も多数あることですので今後ともこのような企画を立てていただきたいと期待しております。関連してその催しとドイツとの関係、われわれ日独協会の活動のわかりやすい解説を添えてはてはいかがでしょうか。なお、音楽が最小の編成でよい音をきかせてくれたことを付記しておきたいと思います。

創立 5 周年記念祝賀会は 18 時 30 分より隣接の第 1 展示集会ホールで行われました。岩崎会長、織田、宮下両副会長の挨拶とドイツ大使館、藤沢、鎌倉、茅ヶ崎の地元 3 市の市長などご来賓のお祝いのスピーチがありました。3 市長がそれぞれ海外の都市との姉妹都市・提携関係を強調されていたのが印象的でした。ドイツの例が少なかったのは残念でした。その後ドイツワインなど飲み物とブッフェを楽しみながらの歓談に移りました。早くも 5 年の交友を刻んで気心の知れたメンバーとの会話は快いものでした。しかしながら 5 周年の節目を迎えた今、新しい仲間特に若い世代の仲間を増やすことが次の課題ではないでしょうか。

私の世代の、しかもドイツにかかわり合ってきたメンバーには常識となっているドイツの文化、ドイツ人の考え方、日本とドイツとの歴史、現在の関係などは一般の人々には必ずしも知られておらず関心が高いともいえないと思います。大学生、高校生を含めて特に若い世代にどうしたら関心を持ってもらえるかについて皆様と一緒に考えてみたいと思いました。

いずれにしても今回の 5 周年記念事業の成功にご尽力いただきました皆様に感謝いたし、今後のますますの発展を期したいと思います。

ヴィルヘルム・レームブルック展

— 20 世紀ドイツを代表する偉大な彫刻家の全貌 —

Wilhelm Lehmbruck

“Sculpture is the Essence of Things”

20 世紀ドイツを代表する彫刻家のひとりヴィルヘルム・レームブルック (1881-1919) の日本で初めての大規模な回顧展を、デュースブルクのヴィルヘルム・レームブルック美術館とレームブルック家の全面的な協力を得て開催されます。

会 期：2004 年 4 月 17 日 (土) ～ 6 月 13 日 (日)

休館日：月曜日 (祝日の場合は開館)、祝日の翌日
(4 月 30 日、5 月 6 日)

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時
(入館は 4 時 30 分まで)

入館料：一般 1100 円 20 歳未満・学生 950 円
65 歳以上 550 円、高校生以下の方、障害者
の方は無料で入館できます

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山

主 催：神奈川県立近代美術館、
ヴィルヘルム・レームブルック美術館
「ヴィルヘルム・レームブルック展」

実行委員会

後 援：東京ドイツ文化センター